

## 駿河ほねほね団活動報告

本多佐おり



プラ板作りの様子

2018年1月30日～4月1日までの期間、静岡市立日本平動物園にて、企画展『静岡市まるごと動物園!?!』が開催され、今回駿河ほねほね団は、その期間中に行われた体験講座に参加してきました。どの回も終日多くの来園者の皆さんに足を止めて頂くことができ大盛況でした。

講座内容は『野生動物クイズラリー (2/18、3/4)』『プラ版作り (2/18、3/4、3/18)』『骨パズル (2/25、3/18)』などなど、いずれも静岡市内に生息している野生動物について楽しみながら知って貰おうという趣旨の物です。

野生動物クイズは、初心者向けから上級者向けまであり、中には少々難しいクイズもありましたが、企画展で展示されているパネルを見れば問題は全て解けるようになっていて、答えが解らなかつたり間違えてしまった場合は、解答のあるパネルまでスタッフが誘導するなどして解いてもらいました。

プラ版作りは、透明のプラスチック板に絵を描き、それをオーブントースターで数秒加熱します。すると1/4くらいのサイズに縮み、厚みも出て、穴を開け紐を付ける事でキーホルダーやしおりなどに加工できるという、小学生などに大変人気のある工作です。今回は、静岡市内に生息する野生動物やその骨格の絵を沢山用意して、その中から好きな絵を写して描いてもらいました。ほねほね団としては、



骨パズルに取り組む様子

格好良い骨格の絵を選んで欲しい所でしたが、やはり動物園という場所柄なのか可愛い動物の絵に人気が集中しているようでした。講座の中でも特に好評で、プラ板を焼くためのトースターの前が長蛇の列になる事もありました。子ども達が一生懸命描いた絵を、焼く段階で失敗してしまう事が一番心配でしたが、事前に練習したかいもあって成功率は100%。子供だけでなく、かなり気合の入った大人の参加者もいて力作ぞろいでした。

骨パズルは、パーツごとになっている骨格の絵をハサミで切り取り、正しい順番に並べてホッチキスで止めるという物で、パーツとパーツを上手くまたぐようにしてホッチキスで止めると、関節部分を動かせるようになります。こちらも初級向けから上級向けまであり、超上級向けのシカの全身骨格は、椎骨一つ一つまでパーツにわけられているので、細かい部分が分からなくなったり、うっかり床に落として慌てて探したり、まるでほねほね団が普段やっている解剖作業の疑似体験のようで、思わず団員の方が夢中になってしまう一幕もありました。

動物園は来園者の数も多く、ミュージアムでの定員のある講座とは違い受講者が流動的で、あまりの慌ただしさに戸惑う場面もありましたが、学ぶ事も多く貴重な経験となりました。